

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

① 第三者評価機関名

社会福祉法人岐阜県社会福祉協議会

② 施設・事業所情報

名称：大垣市立すもと保育園	種別：保育園
代表者氏名：園長 木村 紀代美	定員（利用人数）：150名（105名）
所在地：岐阜県大垣市外濑4丁目67番地	
TEL：0584-89-5550	
HP：https://www.city.ogaki.lg.jp/soshiki/19-14-0-0-0_10.html	
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：昭和51年4月	
経営法人・設置主体（法人名等）：大垣市	
職員数	常勤職員 16名 非常勤職員 7名
専門職員	保育士 20名 調理師 3名
施設・設備 の概要	乳児室 1室 調乳室、遊戯室、調理室、
	保育室 5室 職員室、教材室、プレイルーム

③ 理念・基本方針（※転載）

【理 念】

子ども一人一人を大切にし、保護者から信頼され、地域に愛される保育園

【基本方針】

心身ともに健康で、明るく思いやりのある子

■めざす子どもの姿

元気に体を動かす子・夢中になって遊ぶ子・思いやりのある子

■重 点

コロナ予防をしながら安心安全、笑顔であたたかい園

④ 施設・事業所の特徴的な取組（※評価機関において記入）

昭和51年4月に定員120人の保育所として開設された。現在は定員150名、現員105名で、祝祭日を除き午前7時から午後6時30分までの間、生後2か月から5歳児を対象に保育を実施している。建物は鉄骨ブロック造平屋建で、園庭をコの字型に囲み、どの保育室も明るく風通しや陽当たりが良く、緊急避難時等にも配慮がされている。

昭和58年から障がい児保育に取り組み、実績は岐阜県障害幼児研究会主催の公開保育や指導方法研究会で発表するなど普及活動に努めている。近隣の老人ホームを訪れ利用者の方々と
の触れ合いのほか、隣接する中学校の体育祭の見学や小・中学生の保育所訪問など相互の交流
に努めている。

給食は3名の調理員（調理師有資格者）による自前調理方式で行っており、アレルギー除去
食に対応している。また、3歳以上児を対象にプランターでナスやオクラ、ピーマン等のほか、
畑でさつまいもや玉ねぎ、イチゴ等の栽培と収穫を体験するなど、食農体験等を通じて健康で
豊かな心を育む保育に取り組んでいる。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和3年6月29日（契約日） ～ 令和4年3月11日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	—

⑥ 総評

◇特に評価の高い点

- ・ 保育計画の策定に際して、「大垣市幼児教育・保育の方針と重点達成状況」（園経営・研修・指導の3領域、計13項目評価）を基に、新年度の方針と重点事項を決定すると共に、職員・外部有識者の評議員（5名）及び保護者（アンケート方式）の三者による「保育評価」（子どもの成長、安心・安全、家庭や地域との連携、職員の勤務など計8項目）から得られた取り組み課題を盛り込むなど、外部意見の取り込みを含め策定手続きの方法がルール化されている。
- ・ 人事管理について、4月当初に職員は職務目標（能力・態度）を設定（「目標管理シート」方式）し、その後、前期評価（9月）と全期間評価（2月）の2回、実績を中心に園長等が評価し、結果は園長面談を通じて本人に開示されている。人事管理を通じて職務目標の進捗状況や達成度を相互に確認し、職員一人一人が目標をもって職務に従事する機会になっている。
- ・ 人材育成について、「保育者等研修計画」により、市全体で研修部会と研究部会の二本柱で一元的に実施している。企画、運営は園長や施設代表者等で構成する「研究推進委員会」が担い、研修12項目・研究5項目の17項目にわたり、職務、職種、経験年数等に応じて年度当初に参加計画を策定し、どの職員も年複数回以上の参加機会を確保している。また、職員の「研修受講記録」を整備し、計画的な資質の向上に努めている。その他、新規採用職員には、年4回外部講師（市派遣の保育所長経験者）が訪れ、保育の基本等に係るアドバイスを
行うなど職場適応（定着）の促進に取り組んでいる。
- ・ 「市立保育園及び幼稚園等における災害時等業務継続計画（BCP）」は、災害発生時に備えた業務の継続を図る基本的な推進体制等を示し、これにより園は、平時であっても災害に備え取
組むべき事項、および、緊急時ではBCP発動による発生時の対処・救急及び連絡体制の確立、
園児等の安否確認、職員の参集、臨時休園、子ども等の避難や家族への引き渡し及び備蓄食

品など、計画が求める園児の安全確保等に対する具体的な取組について整備している。

- ・当園は街の中に位置しているが、園庭も広く、畑やプランターで野菜を育て、収穫した野菜を子どもたちがクッキングで使用し、その後、家に持ち帰れるという環境が整備され活用されている。
- ・植物や虫などの飼育活動を通して命の大切さを体験したり、集団の中で自分の力を発揮し友達と共に楽しみながら遊びや活動に取り組んだりできる園であり自然の中で子どもが育つことを大切に考えられている。
- ・新型コロナウイルス感染症への対応は、市の園長会での申し合わせ事項を中心に行っている。園建物内への立入制限、パーティションの利用、健康チェックカードの提出、玩具を使用のたびに消毒するなど、丁寧に取り組んでいる。

◇改善を求められる点

- ・実習生、施設体験・見学者等の対応について、簡易なものであっても園独自の保育園案内等を作成し、具体的な園情報の発信が求められる。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

行政の指導の基で運営しておりますが、高い評価をいただき身に余る思いです。今後も理念にあるように、子ども一人一人を大切に、保護者から信頼され、地域に愛される保育園を継続していきます。ご指摘いただいた所は、保育課や他の公立園とも協議しながら進めて参ります。

⑧ 第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。